

大阪の商店街

商店街を歩くのが好きだ。東京に行っても戸越銀座や立石仲見世、最近では荒川区のジョイフル三ノ輪商店街などを訪ねた。

大阪を代表する商店街が天神橋筋商店街だ。大阪というより、日本を代表する商店街である。「日本一長い商店街」として有名であり、天神橋筋 1 丁目から 7 丁目まで 1 直線で 2.6 キロも南北に連なっている。

写真は天神橋筋 6 丁目商店街であり、活気があり賑わっていた。ここ「てんろく」は、



明治・大正の頃から栄、阪急「天六駅」ができた頃は、京都への花見客で商店街が大混雑したという。

天神橋筋商店街連合会編『商店街の本』は、天神橋筋に生きる「街あきんど」を紹介していて興味深い。日本一長い商店街の魅力を探る上で参考になる。「街あきんど」の心意気が商店街に元気と活気をもたらしている。2006 年 10 月に上方落語の定席「天満天神繁昌亭」が誕生して、連日満員で大盛況という。



もう 1 つの写真は「十三」(じゅうそう) 商店街である。毎月 13 日は十三の日」という大きな垂れ幕が印象的だ。阪急電車の乗換駅であり、飲み屋なども多く、商店街も下町的な雰囲気強く感じられ、歩いていても楽しくなる。

(2009 年 6 月 18 日 記)